

令和4年度 高齢者実態調査地区別分析結果 加木屋南

1 調査の目的

団塊の世代が高齢期を迎え、高齢化率が年々上昇しています。高齢者を取り巻く社会環境が大きく変化し、多様化する課題やニーズに対応するためには、行政とサービス事業所、そして地域組織が協働し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができるようにするための「地域包括ケアシステム」の構築が必要不可欠です。

東海市では、各地域の高齢者を取り巻く課題を明らかにし、「地域包括ケアシステム」を構築するための基礎的資料及び第4次東海市総合福祉計画への反映を目的とし、「高齢者実態調査」を実施しました。

また、分析結果について関係機関等に周知し、地域課題の認識及び解決に向けた取り組みの推進を図ります。

地区別分析では、市の平均との比較から、地区の特徴を見る形で報告しています。

2 調査の内容

対象：令和4年12月末現在で75歳以上となる市内在住の高齢者

時期：令和4年（2022年）5月10日～令和4年（2022年）9月30日

方法：民生委員による個別面接調査（実態調査票）

対象者数：14,624人

有効回答数（回収率）：13,095人（89.5%）

○当該地区データ

対象者数：1,736人

有効回答数（回収率）：1,563人（90.0%）（平成29年度調査の回収数：1,390件）

○ 調査結果の表示方法

- ・回答数は該当者のみが回答するなど、分析方法によって違いがあります。

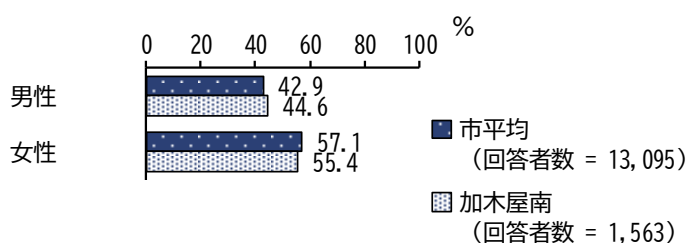
3 地区の高齢者の実態（高齢者実態調査から）

F1 性別／F2 年齢 ※住民基本台帳の情報を参考

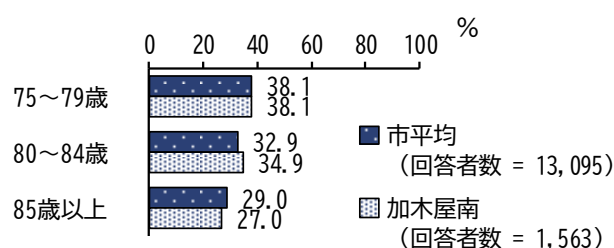
「男性」の割合が44.6%、「女性」の割合が55.4%となっています。

「75～79歳」の割合が38.1%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が34.9%、「85歳以上」の割合が27.0%となっています。

[性別]



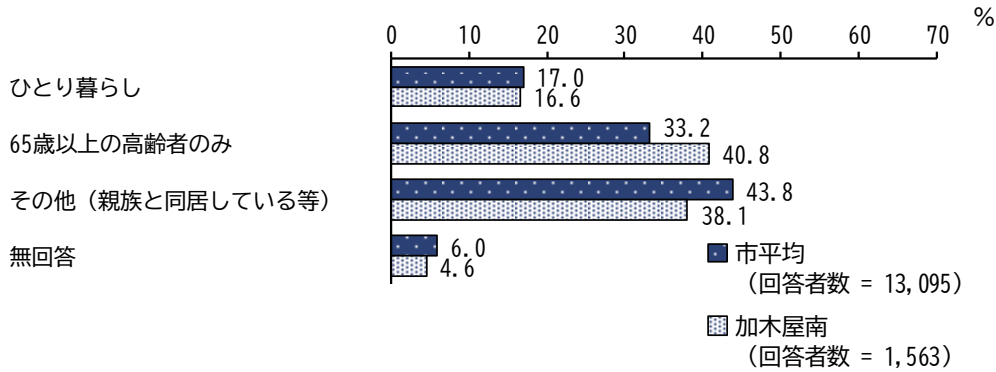
[年齢]



問1 世帯状況

「65歳以上の高齢者のみ」の割合が40.8%と最も高く、次いで「その他（親族と同居している等）」の割合が38.1%、「ひとり暮らし」の割合が16.6%となっています。

年齢別で見ると、75～79歳で「65歳以上の高齢者のみ」の割合が、85歳以上で「その他（親族と同居している等）」の割合が高くなっています。



【性別（問1×F1）、年齢別（問1×F2）】

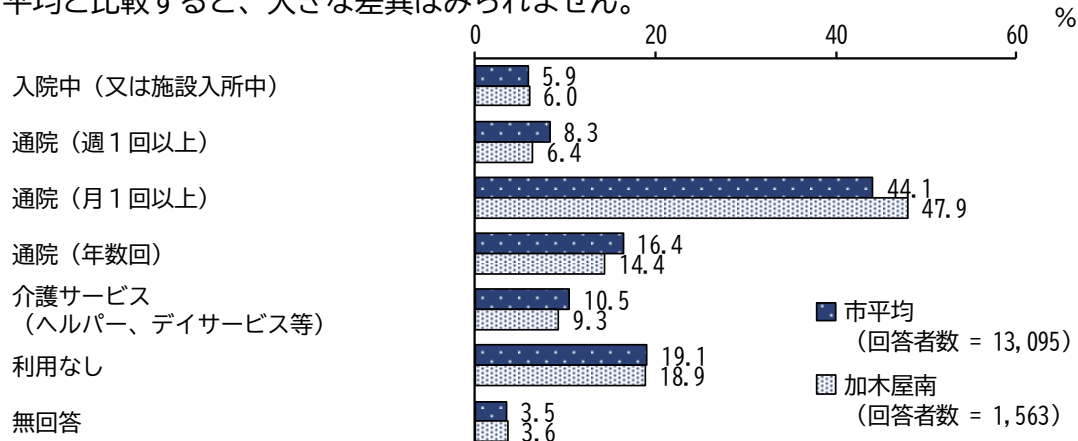
単位：%

区分		回答者数 (件)	ひとり暮らし	65歳以上の高齢者のみ	その他（親族と同居している等）	無回答
全体		1,563	16.6	40.8	38.1	4.6
性別	男性	697	9.6	51.8	35.6	3.0
	女性	866	22.2	31.9	40.1	5.9
年齢別	75～79歳	595	14.8	47.6	34.8	2.9
	80～84歳	546	17.9	40.8	37.5	3.7
	85歳以上	422	17.3	31.0	43.4	8.3

問2 現在病院や介護保険サービスの利用の有無（複数回答可）

「通院（月1回以上）」の割合が47.9%と最も高く、次いで「利用なし」の割合が18.9%、「通院（年数回）」の割合が14.4%となっています。

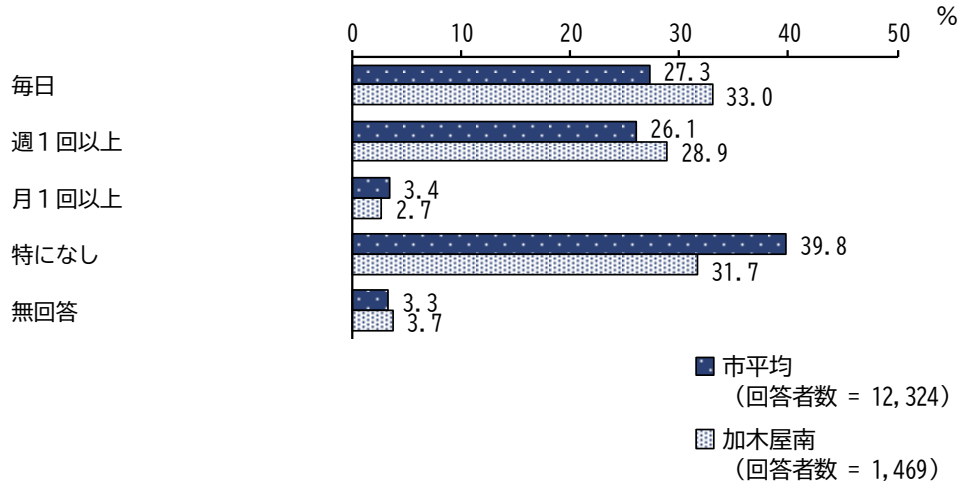
市平均と比較すると、大きな差異はみられません。



問3 体操やウォーキング等、健康づくりによる取り組み状況

「毎日」の割合が33.0%と最も高く、次いで「特になし」の割合が31.7%、「週1回以上」の割合が28.9%となっています。

世帯状況別でみると、65歳以上の高齢者のみで「毎日」の割合が、ひとり暮らしで「週1回以上」の割合が高くなっています。



【年齢別（問3×F2）、世帯状況別（問3×問1）、家族外交流別（問3×問4）】

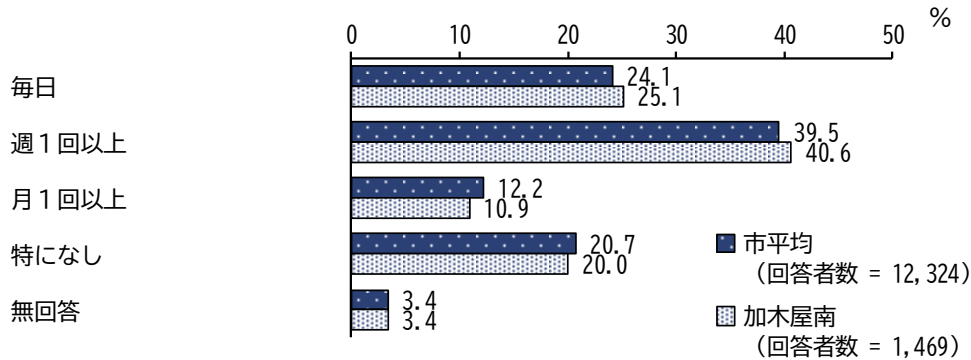
単位：%

区分		回答者数 (件)	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		1,469	33.0	28.9	2.7	31.7	3.7
年齢別	75～79歳	578	34.3	31.5	2.9	28.7	2.6
	80～84歳	523	36.9	25.4	1.9	31.5	4.2
	85歳以上	368	25.5	29.6	3.5	36.4	4.9
世帯状況別	ひとり暮らし	252	31.7	33.7	1.6	30.2	2.8
	65歳以上の高齢者のみ	623	36.0	28.3	3.0	29.5	3.2
	その他（親族と同居している等）	574	31.2	27.5	3.0	34.5	3.8
家族外交流別	毎日	369	62.3	21.1	1.6	14.4	0.5
	週1回以上	596	25.8	44.1	2.7	25.5	1.8
	月1回以上	160	24.4	20.6	6.9	46.9	1.3
	特になし	294	19.7	16.0	1.7	60.5	2.0

問4 家族以外の人との交流頻度

「週1回以上」の割合が40.6%と最も高く、次いで「毎日」の割合が25.1%、「特になし」の割合が20.0%となっています。

世帯状況別でみると、ひとり暮らしで「週1回以上」の割合が高くなっています。



【年齢別 (問4×F2)、世帯状況別 (問4×問1)】

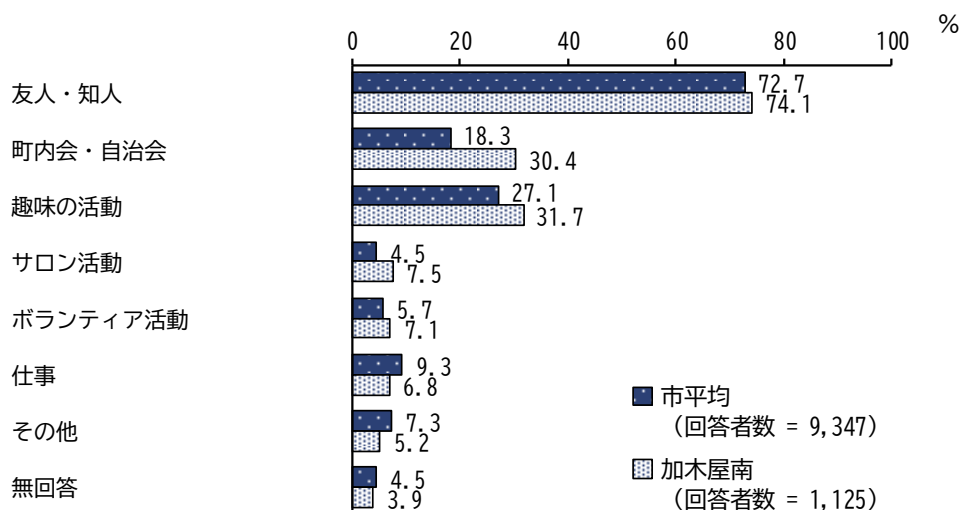
単位：%

区分		(件) 回答者数	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		1,469	25.1	40.6	10.9	20.0	3.4
年齢別	75～79歳	578	27.7	40.1	11.8	17.6	2.8
	80～84歳	523	25.8	40.7	10.5	19.7	3.3
	85歳以上	368	20.1	41.0	10.1	24.2	4.6
世帯状況別	ひとり暮らし	252	27.0	46.4	9.5	14.7	2.4
	65歳以上の高齢者のみ	623	27.3	39.5	9.0	21.0	3.2
	その他(親族と同居している等)	574	22.6	39.4	13.9	20.7	3.3

問5 家族以外の交流関係

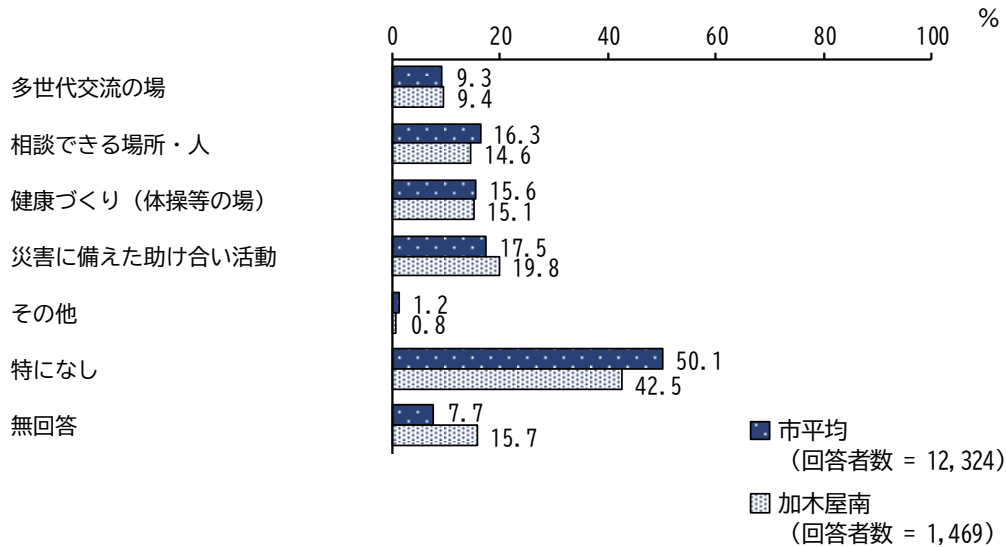
「友人・知人」の割合が74.1%と最も高く、次いで「趣味の活動」の割合が31.7%、「町内会・自治会」の割合が30.4%となっています。

市平均と比較すると、「町内会・自治会」の割合が高くなっています。



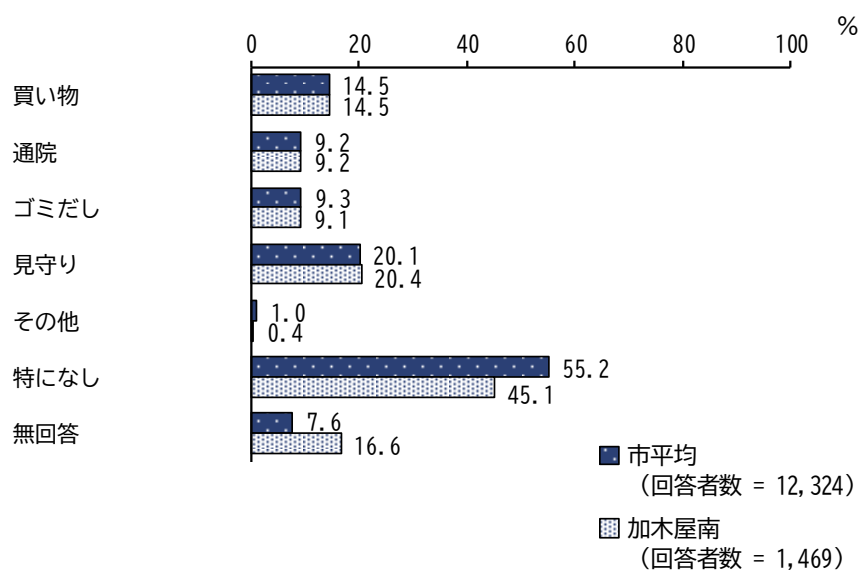
問6 安心して生活するために、今後身近な地域に必要なと感じるものは何ですか
(複数回答可)

「特になし」の割合が42.5%と最も高く、次いで「災害に備えた助け合い活動」の割合が19.8%、「健康づくり（体操等の場）」の割合が15.1%となっています。
市平均と比較すると、「特になし」の割合が低くなっています。



問7 今後、地域で助け合えると良いと思うことは何ですか (複数回答可)

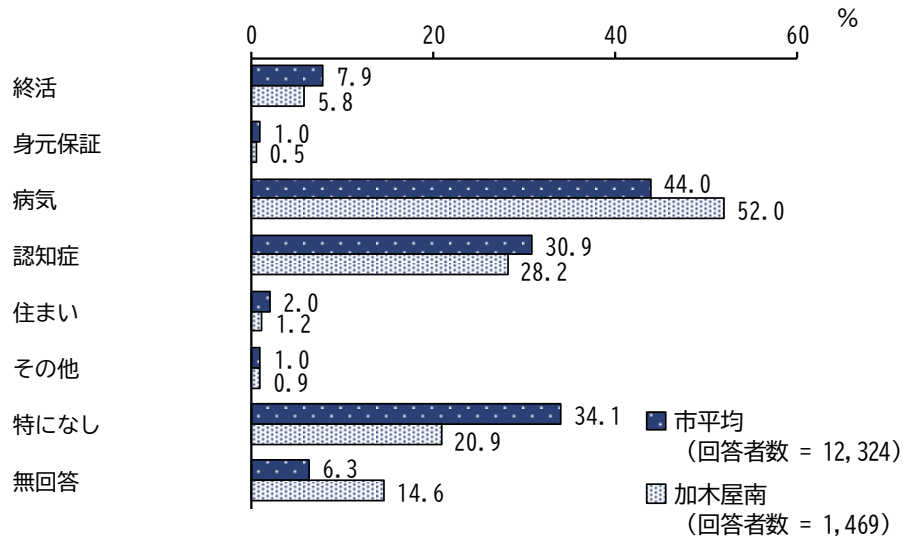
「特になし」の割合が45.1%と最も高く、次いで「見守り」の割合が20.4%、「買い物」の割合が14.5%となっています。
市平均と比較すると、「特になし」の割合が低くなっています。



問8 将来への不安に思うことは何ですか（複数回答可）

「病気」の割合が52.0%と最も高く、次いで「認知症」の割合が28.2%、「特になし」の割合が20.9%となっています。

市平均と比較すると、「病気」の割合が高くなっています。
年齢別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別（問8×F2）、世帯状況別（問8×問1）、健康活動別（問8×問3）、家族外交流別（問8×問4）】

単位：%

区分		回答者数(件)	終活	身元保証	病気	認知症	住まい	その他	特になし	無回答
全体		1,469	5.8	0.5	52.0	28.2	1.2	0.9	20.9	14.6
年齢別	75～79歳	578	7.8	0.2	51.2	28.2	1.2	1.0	21.3	14.2
	80～84歳	523	5.0	0.6	50.3	29.6	1.0	0.8	20.7	15.7
	85歳以上	368	3.8	1.1	55.7	26.1	1.4	0.8	20.7	13.9
世帯状況別	ひとり暮らし	252	6.7	0.8	55.2	31.7	1.6	0.4	21.8	9.5
	65歳以上の高齢者のみ	623	5.8	1.0	51.0	28.1	1.1	1.0	20.5	15.7
	その他（親族と同居している等）	574	5.6	-	52.3	26.8	1.0	1.0	21.1	14.5
健康活動別	毎日	485	5.2	0.4	49.7	27.6	0.4	0.6	26.2	9.5
	週1回以上	424	7.1	0.9	58.5	32.3	2.1	1.4	19.8	10.4
	月1回以上	40	5.0	-	55.0	22.5	-	2.5	17.5	15.0
	特になし	465	5.8	0.4	53.1	27.7	1.3	0.4	18.5	16.6
家族外交流別	毎日	369	6.2	1.1	52.3	28.5	1.1	0.8	22.5	12.2
	週1回以上	596	5.2	0.5	56.7	31.2	1.0	1.0	20.0	10.7
	月1回以上	160	8.8	-	67.5	33.8	0.6	0.6	13.8	6.9
	特になし	294	5.8	0.3	41.5	23.5	1.7	1.0	26.9	18.0

4 地区の高齢者の詳細ニーズ分析（世帯状況×地域交流）

高齢者のニーズについて、世帯状況と家族以外の人との交流状況（週一回以上を“交流あり”と設定）に着眼し、2つの組み合わせで6つのタイプに分類してニーズを分析しました。

『安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの』については、地域の環境整備として公的に必要なニーズを分析することができます。

一方で、『今後、地域で助け合えると良いと思うこと』については、自らができると思うことや人と人との助け合いにより実現できる可能性があるニーズを分析することができます。

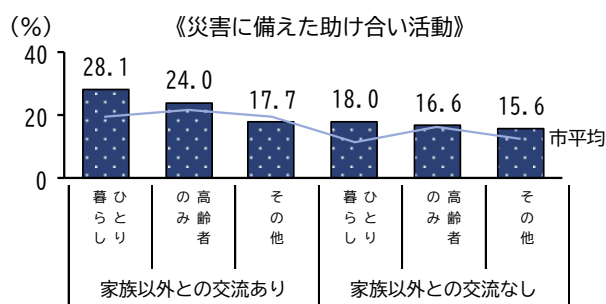
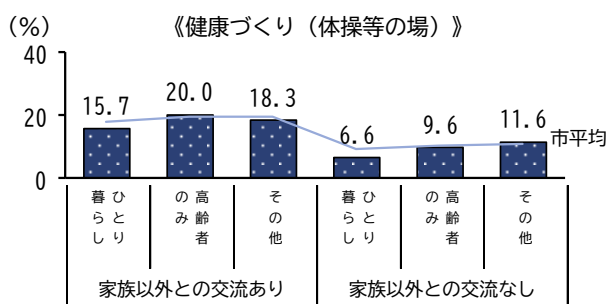
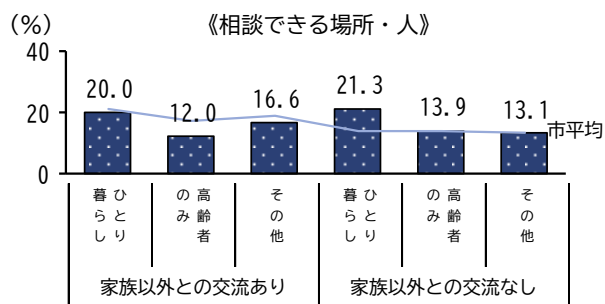
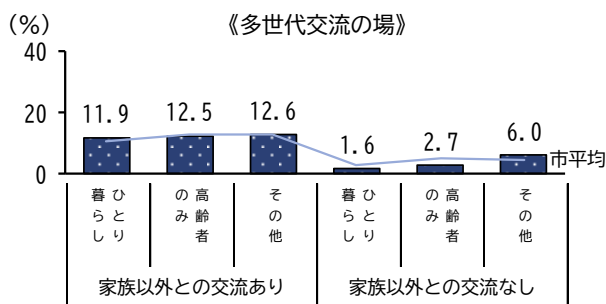
特に、市平均と比較して、高い値を示した項目は、当該地区の特徴的なニーズと言えます。

【6タイプ】

- ①家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯
- ②家族以外との交流がある「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ③家族以外との交流がある「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記
- ④家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯
- ⑤家族以外との交流がない「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ⑥家族以外との交流がない「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記

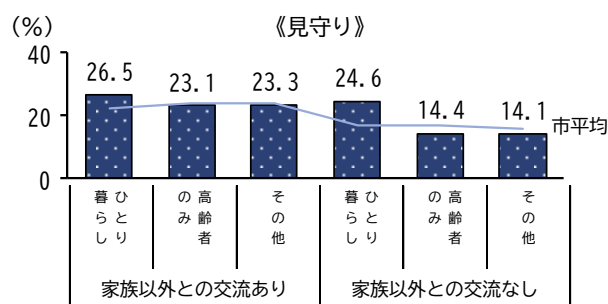
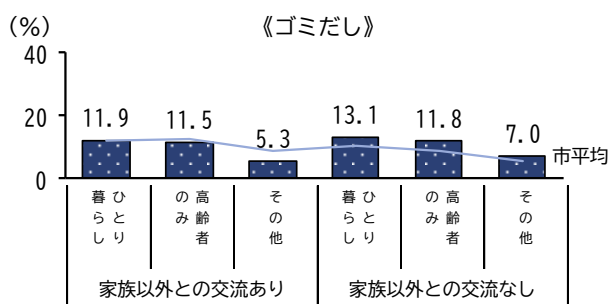
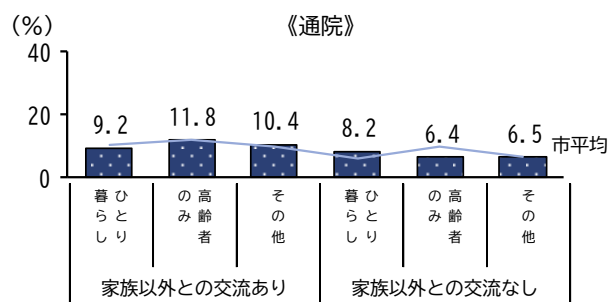
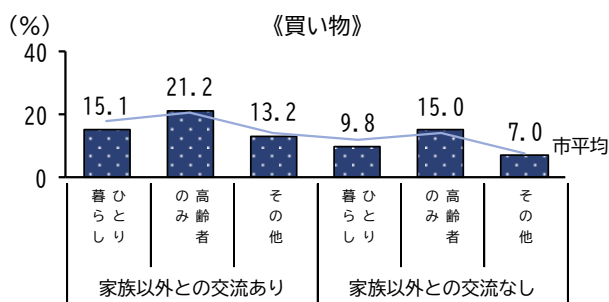
安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの

加木屋南地区では、『相談できる場所・人』の割合が、家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯で、『災害に備えた助け合い活動』の割合が、家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯で、市平均より高くなっています。



今後、地域で助け合えると良いと思うこと

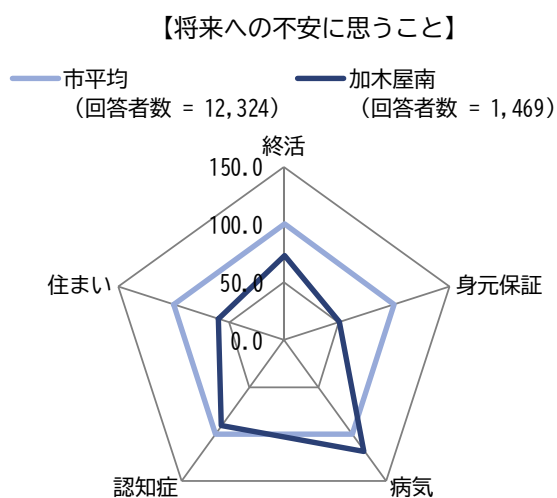
加木屋南地区では、『見守り』の割合が、家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯で、市平均より高くなっています。



総括

将来へ不安に思うこと

※将来へ不安に思うことについて、市平均を100.0とした時の当該地区の特徴を示しました。



加木屋南地区は、市平均と比較すると、「65歳以上の高齢者のみ世帯」の割合が高く、家族以外の人との交流頻度においては、「毎日」「週1回以上」の割合が若干高くなっています。その背景として、「友人・知人」「趣味の活動」「町内会・自治会」との交流が高いことが影響していることがわかります。

地区の詳細分析では、「家族以外との交流がないひとり暮らし」で、身近な地域に必要なものとして、「相談できる場所・人」が、今後地域で助け合えると良いこととして、「見守り」が求められています。

加木屋南地区は、地域特性として、市平均と比べ友人・知人、自治会・町内会、趣味の活動、といった地域のつながりが強いことから、気軽に相談できる場所や見守りシステムの整備などの創出で、高齢者のニーズに合わせた安心して地域で生活できる環境づくりが期待できます。